

「公共」教科書シンポジウム

～新しい教科書の姿を考える～

2018年**3月18日**(日)

14:00～17:00(13:30開場)

都市センターホテル
601号会議場
(東京都千代田区平河町2-4-1)

参加費
無料

現在進められている学習指導要領の改訂により、現行科目である「現代社会」が廃止され、新科目「公共」が設置されます。かかる学習指導要領の改訂は、単に知識の量的な増大ではなく、「資質・能力」を育むという観点を徹底する点や、「見方・考え方」を働かせることで「資質・能力」の一つである「思考力・判断力・表現力」の育成を質的に向上させるよう求める点、及び、「資質・能力」を育むための方法として「主体的対話的で深い学び」(アクティブラーニング)を活用するよう求めている点等に大きな特徴があり、単に科目の名称が「現代社会」から「公共」に変わるだけにとどまらない劇的な変化をもたらすことになると予想されます。それは、どのような課程で、何を学ぶのかという問いはもちろん、どのように学ぶのかという問いに対しても、各教科書が答えを用意しなければならないことを意味します。

そこで、このような教科書を取り巻く状況を踏まえて、新しい教科書のあるべき姿について考えを深める機会を設けることで、「公共」教科書をよりよいものとしていただきたいと考え、本シンポジウムを企画しました。

プログラム

◆基調報告

「深い学びをどう実現するか

—法教育ができること—

村松 剛

(中教審 教育課程部会 社会・地理歴史・公民WG委員
日弁連市民のための法教育委員会事務局長)

◆モデル教科書案の報告

◆パネルディスカッション

～「見方・考え方」を働かせるための課題を探る～

パネリスト

宍戸 常寿 氏(東京大学教授)

渥美 利文 氏(東京都立農芸高校教諭)

吉村 功太郎 氏(宮崎大学教授)

コーディネーター

綱森 史泰

(日弁連市民のための法教育委員会副委員長)



<アクセス>

●電車をご利用の場合

- ・東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」
4番・5番出口より徒歩4分、9b番出口より徒歩3分
- ・東京メトロ 有楽町線「麴町駅」
半蔵門方面1番出口より徒歩4分
- ・東京メトロ 丸の内線・銀座線、「赤坂見附駅」
D出口より徒歩8分
- ・JR中央線「四谷駅」麴町出口より徒歩14分

●都バスをご利用の場合

- 平河町2丁目「都市センター前」下車
(新橋駅～市ヶ谷駅～小滝橋車庫前)

【主催】日本弁護士連合会 【後援】法と教育学会

【お問合せ先】日本弁護士連合会 法制第一課 (TEL03-3580-9983)

当日は、シンポジウムの内容を記録し、成果普及に努めるため、会場での写真撮影、映像撮影及び録音を行います。撮影した映像・画像は、そのまま当連合会の広報に使用させていただく可能性があり、録音した内容は反訳を行った上で登壇者以外は個人が特定されない形で利用させていただく可能性がございますので、その旨ご了承ください。